

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 145 号 2018.3.20
□ ■ □ -----

3月17日(土)、靖国神社にある標本木の桜が5輪以上咲いていることが確認され、東京でも桜の開花が宣言されました。

「桜」とひと口に言っても、日本にはたくさんの種類があります。早い時期に咲く寒緋桜や、開花宣言の標本木であるソメイヨシノ。ほかにも枝垂れ桜や八重桜などなど。

皆さんの周りにはどの桜が植わっていますか？種類や開花時期など、調べてみると楽しいかもしれませんね。

■ ■ こどもとしょかんからのお知らせ □-----

◆早野たづ子氏の作品を展示しています。

3月25日(日)まで、芳澤ガーデンギャラリーで「早野たづ子展」が開催されています。早野たづ子氏は、市川市在住の人形作家です。

図書館では特別に、ギャラリーには展示されていない作品を数体、早野たづ子氏からお借りしました。

人形たちの豊かな表情を、近くからご覧になれます。ぜひお立ち寄りください。

<展示場所>こどもとしょかん(くつろぎひろば)または、中央図書館(展示塔)

<展示期間>4月下旬までを予定

■ ■ 読んでみませんか -桜の本- □-----

3月27日は「さくらの日」という記念日です。

なぜ27日がさくらの日になったのかというと、「3×9(さくら)=27」という語呂合わせが一つ。もう一つは、七十二候にある「桜始開(さくらはじめてひらく)」がこの時期に重なることからだそうです。

今年の「桜始開」はさくらの日の前日、3月26日です。満開になるのが今から楽しみです。

○市川市内の桜の名所を記載した「桜の見どころ発見MAP」を、中央図

書館で配布しています。MAPを片手にのんびり散歩してみてもいいでしょうか。

○中央図書館では、本日3月20日（火）から桜に関する本を集めた小展示を行います。

○桜に関する図書の中からいくつかご紹介します。

◇『そして一本桜 後世に残したい桜たち』葛城三千子／著（右文書院 2016）

ソメイヨシノという桜は、新種でありながら、今では全国で見ることができる桜になりました。しかし日本には、古くから歌人たちが愛してきた桜もあります。

そんな全国の桜の古木を、著者は訪ね歩きました。その記録として桜のカラー写真や、その桜に関する事柄が書かれています。千葉県にある桜の古木の一本として「弘法寺のしだれ桜」が取り上げられています。

◇『チェリー・イングラム 日本の桜を救ったイギリス人』阿部菜穂子／著（岩波書店 2016）

イギリスにも桜の木があり、お花見を楽しむ人もいます。その背景には、コリングウッド・イングラムという人物の活動がありました。日本で絶滅したと考えられる桜を自身の桜園で植えていた彼は、その桜を日本へ里帰りもさせてくれました。英国人の桜守と称される彼の生涯が書かれています。

◇『桜』蛭川実花／著（河出書房新社 2011）

ソメイヨシノ、八重桜、枝垂桜……。一週間の撮影で撮った枚数は2500枚。その多くの写真の中から選ばれた桜の写真集です。

桜の花弁を堂々と写真の中央に大きく写したものや、青空を背景に咲く桜の写真。咲き終わり散ってしまった花びらなど、様々な角度から撮影された桜の木を楽しむことが出来る一冊です。

.....
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
